

2017年度（平成29年度）大学院入試

数学問題 A

実施日時

2016年（平成28年）8月24日（水）

9:00～12:00

- 監督者の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
- 問題冊子は表紙も入れて5枚である。
- 問題は全部で4問である。
- 解答は、問題ごとに別々の答案用紙1枚に記入すること。答案用紙の裏面に記入してもよい。
- それぞれの答案用紙に受験番号、氏名、問題番号を記入すること。
- 答案用紙、下書き用紙は終了後すべて提出し、持ち帰ってはならない。

- [1] (1) $\{a_n\}, \{b_n\}$ は実数列で, すべての正の整数 n に対して, $|a_n| \leq b_n$ であるとする.
このとき, $\sum_{n=1}^{\infty} b_n$ が収束するなら, $\sum_{n=1}^{\infty} a_n$ も収束することを示せ.
- (2) $f(x)$ は $[0, \infty)$ 上の実数値連続関数で, $x > 0$ では $|f(x)| \leq \min\{x, x^{-1}\}$ であるとする. このとき, 各 $x \in [0, \infty)$ に対して, $\sum_{n=1}^{\infty} f(2^n x)$ が収束することを示せ.
- (3) (2) の $f(x)$ について, $\sup_{x \in [0, \infty)} \left| \sum_{n=1}^{\infty} f(2^n x) \right| < \infty$ を示せ.

[2] n を正の整数, A を成分がすべて実数であるような n 次交代行列とする. さらに A は正則であると仮定する. 以下 \mathbb{R} は実数体, \mathbb{C} は複素数体を表すものとする.

- (1) n は偶数であることを示せ.
- (2) A の固有多項式の \mathbb{C} における根はすべて純虚数であることを示せ.
- (3) B を成分がすべて実数であるような n 次対称行列であって, $AB = BA$ をみたすものとする. $\alpha \in \mathbb{R}$ を B の固有値とし, 固有値 α に属する B の固有空間を $W(B, \alpha) \subset \mathbb{R}^n$ で表す. $AW(B, \alpha) = \{A\mathbf{v} \mid \mathbf{v} \in W(B, \alpha)\}$ とするとき, $AW(B, \alpha) = W(B, \alpha)$ であることを示せ.
- (4) (3) の B について, $g_B(t)$ を B の固有多項式とする. このとき, 実多項式 $f(t)$ で $g_B(t) = f(t)^2$ をみたすものが存在することを示せ.

[3] 実数全体のなす集合を \mathbb{R} , 有理数全体のなす集合を \mathbb{Q} とする . \mathbb{Q} のすべての部分集合が開集合となる最弱の位相を \mathbb{R} に入れた位相空間を X とする .

- (1) 写像 $f: X \rightarrow X$ を $f(x) = x+1$ により定める . f は連続写像であることを示せ .
- (2) X はハウスドルフ空間であるかどうか , 理由をつけて答えよ .
- (3) X はコンパクトであるかどうか , 理由をつけて答えよ .
- (4) \mathbb{R} に通常の位相を入れた位相空間を R とし , 写像 $f: X \rightarrow R$ を

$$f(x) = \begin{cases} 0 & (x \text{ が有理数}) \\ 1 & (x \text{ が無理数}) \end{cases}$$

と定める . f が連続かどうか , 理由をつけて答えよ .

[4] 以下 n は正の整数, i は虚数単位とする .

(1) 複素関数 $\frac{1}{(z^2 + 1)^{n+1}}$ の $z = i$ における留数を求めよ .

(2) $R > 0$ とする . 複素平面上の積分路

$$\Gamma_R : z = Re^{i\theta}, \quad 0 \leq \theta \leq \pi$$

に対し ,

$$\lim_{R \rightarrow \infty} \int_{\Gamma_R} \frac{dz}{(z^2 + 1)^{n+1}}$$

を求めよ .

(3) $\int_{-\infty}^{\infty} \frac{1}{(x^2 + 1)^{n+1}} dx = \frac{1 \cdot 3 \cdot 5 \cdots (2n - 1)}{2 \cdot 4 \cdot 6 \cdots (2n)} \pi$ を示せ .